

家具の転倒防止



阪神・淡路大震災では、亡くなった方の**8割以上は圧死**が原因でした。震災で生き残るためには、まず、**発災直後に生き残ること**。家の耐震化を行い、大きな家具などは家具転倒防止をして、日頃から地震に備えましょう。

首都直下地震の被害想定(最大)

新宿区内の**8割が震度6強の揺れ**

体感・行動

立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろつされ、動くこともできず、飛ばされることもある。

震度6強

屋内の状況

固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。

屋外の状況

壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が増える。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。

出典：気象庁ホームページ



平成19年(2007年)新潟県中越沖地震における室内の被害

家具転倒防止器具の種類

転倒防止板



家具の前下部に挟み込む方法

つっぱり棒



家具と天井の間に設置する方法
※家具と天井に十分な強度が必要

ベルト式・L字型金具



家具と壁にねじ止めで器具を固定する方法
※家具と壁面に十分な強度が必要

小

器具の効果

大

家具転倒防止器具 相談・取付け事業

ご自宅に伺って、適切な器具や設置方法等をご相談の上取付けします。相談・取付け費用は無料(区負担)、器具代と追加工事費用等は利用者負担となります。

新宿区建築物等耐震化支援事業

建築物の耐震化を促進するために、簡易な耐震診断などの技術者派遣(無料)や、耐震診断、耐震設計及び耐震改修工事などに要する費用の一部を補助しています。

お問い合わせ

危機管理課
※日本語のみ

電話 03-5273-4592

お問い合わせ

防災都市づくり課
※日本語のみ

電話 03-5273-3829